

お菓子や食品 薬品までなんでも包む ウワサの会社って!?

株式会社フジキカイ

THE BASE NAGOYA

住所：北名古屋市沖村西ノ川91
事業内容：自動包装機械および関連装置の
開発製造販売
拠点数：国内/12拠点
海外子会社・関連会社/6カ国



HP

食パンを自動で包装する様子が
見られる!



YouTube

YouTube
チャンネルは
コチラ⇒

あれもこれも
フジキカイが
包んでいるんだって!



オフィシャルキャラクター
「ツツムくん」

地元っ子なら一度は見かけた経験があるだろう、
北名古屋市沖村地区に位置する、とても大きなあの工場。
そこには、ありとあらゆるものを包む機械を製造してきた
老舗企業・フジキカイがある。その工場内を訪ねると、
時代に即した新技術、そして包装に込める
優しい心根が感じ取れた。

column

これが創業のきっかけになった キャラメルの包装機械!

1948年という創業の時代を感じさせるキャラメル包装機械は、ショールームにて展示中。なお、この機械から発展を続けた同社の取引先は、なんと約1万社。オーダーは一社一商品のみにとどまらないため、包装している商品数は数え切れない。



SDGsはもちろん地元との絆もバッチリ

工場働く従業員たちの満足度を高める食堂だけでなく、工場全体の断熱といった省エネ設計など環境への配慮も。さらには、地元小学校の工場見学受け入れ、県内高校生の起業家育成を目的とした「アントレプレナーシップ」支援などなど、人にも地球にも優しい取り組みが、これでもかと盛り込まれているのだ。



プラスチック
問題にも
アプローチ中だよ

世界60カ国との
取引って、めっちゃ
ワールドワイド

コンビニやスーパーに
並ぶパンを、
この包装機械で
ひとつずつ包む
様子がコチラ!

01

なんでも自動包装!
暮らしを彩る大工場

「フジキカイの包装機械は、身近にある様々な商品を、自動で包装しています。一つひとつ商品を袋状に包装してから、段ボールを組み立て、商品を段ボールに詰め、その段ボールにガムテープを貼り梱包するといった、一連の包装をすべて自動で行なう大型機械もあります!」
人事部の安藤未奈子さんの案内でショールームを訪れると、横幅10mを超える巨大な機械類がずらり。メカが大好きな子どもなら、目がキラキラしてしまいそうな光景が広がっていた。自動包装は、私たちの暮らしに、なくてはならない技術。包んでいるものを聞くと、それを実感できた。

「パンやお菓子、医薬品やお弁当、おもちゃや文具…。町中で見かける多くの商品に、私たちの包装機械が関わっているんです」
多彩な商品を包むフジキカイの包装機械。その始まりは、戦後まもない頃にさかのぼるといいます。

「当時、子どもたちが食べていたのは、手作業で包装されたキャラメル。しかし当時は感染症が流行っていたため、衛生面を心配した初代社長が、安心して食べられるようキャラメルを自動で包む機械を発明したんです」。

レイアウトの採用や、人間工学にもとづいた快適な階段の設計による社員の健康増進活動を展開するなど、社員の働きやすい環境を実現。さらに、プラスチック問題をまじめに考えるプロジェクトといった取り組みを通じた、新たな社会貢献を模索中だ。そんなフジキカイは自社だけでなく、ほかの地元企業の魅力も伝わるよう、願っていた。

「私たちがテーマとする包装はもはや、インフラのひとつ。そして地元には私たちだけでなく、暮らしに欠かせないものづくりを支える他社さんがたくさんあります。当社をきっかけに、地元企業の面白さに気づいていただけたら、うれしいです!」

地域をまるごと地元愛でくむむ包容力もまた、同社ならではの、包装のカタチ。多彩な企業とともに豊かな暮らしを支えてくれるフジキカイに、図らずも魅了されました。

教えてくれたのは…

株式会社フジキカイ
人事部
安藤 未奈子さん

入社8年目。主に就活生などを対象に自社の魅力を伝え、ときとして同業他社とも連携しつつ、業界活性化に挑んでいる



02 技術ばかりじゃない! 人と地元に向ける思い
これまで、バラエティ豊かな包装機械を生み出してきた、フジキカイ。並行して新時代を彩る技術を多く開発してきたが、その一番の強みは、時代にフィットするところだ。

安心安全に
食べられるのは
包装のおかげ!



column

その後、いつの時代も、衛生面と安全性を満たす包装のニーズは尽きることがなかった。

それどころか、省人・省エネ化や自動化、商品ブランドの演出など、包装に求められるオーダーは増えるばかり。こうした要望にコツコツと応え、技術力を鍛えるうちに、「技術と品質のフジ」と呼ばれるようになり、世界屈指の企業に成長したのだった。

「包装には、環境問題が切り離せません。多くの企業が地球にやさしい包装方法を模索するなかで、当社は、開けたら捨てるのではなく、開けたら集めて、同じフィルムに戻すことができる、包装技術を開発しました」。

これまで取得してきた特許件数は、合計1000件以上。そんな同社は技術を高めるだけでなく、社員のコミュニケーションを推進する建物

包装機械を
開発製造する
一大拠点だよ!



オフィシャルキャラクター
「シャッチョーさん」